

2019年3月期 第1四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2018年7月31日



2019年3月期 第1四半期決算のポイント

- 1Q(4 - 6月)は対前年同期比で増収増益。
放熱材などの半導体関連製品の売上数量増や、苛性ソーダなどの販売価格是正が寄与。
- 営業外損益・特別損益の改善により、第1四半期の経常利益・最終利益としては過去最高。
- 現時点で期初見通しを上回る進捗であるものの、原燃料価格は高値を維持していることから、通期の業績予想を据え置く。
- フォトレジスト用現像液(TMAH)の生産能力増強を決定。

CONTENTS

1 2019年3月期 第1四半期決算

2 2019年3月期 業績予想

3 トピックス

4 補足資料

1 2019年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高
／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高
／営業利益増減分析

1. 決算概要

(億円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	724	758	+33	+5	苛性ソーダの価格是正 半導体関連製品の販売数量増
営業利益	84	88	+3	+5	苛性ソーダの価格是正 トクヤママレーシアの連結除外
経常利益	77	86	+9	+12	営業利益の増加 支払利息の減少
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△81	66	+148	-	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	△140.44	95.73	-	-	-
為替(円/\$)	111	109	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kg)	39,100	48,700	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2018年 3月末	2018年 6月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,619	3,580	△39	長期借入金の返済による流動資産の減少
自己資本	1,256	1,301	+44	親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	34.7%	36.3%	+1.6ポイント	-
有利子負債	1,399	1,365	△33	長期借入金の減少
D/Eレシオ	1.11	1.05	△0.06	-
ネットD/Eレシオ*	0.58	0.55	△0.03	-
1株当たり純資産 (円)	1,806.56	1,870.87	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益

(前年同期比)

(億円)

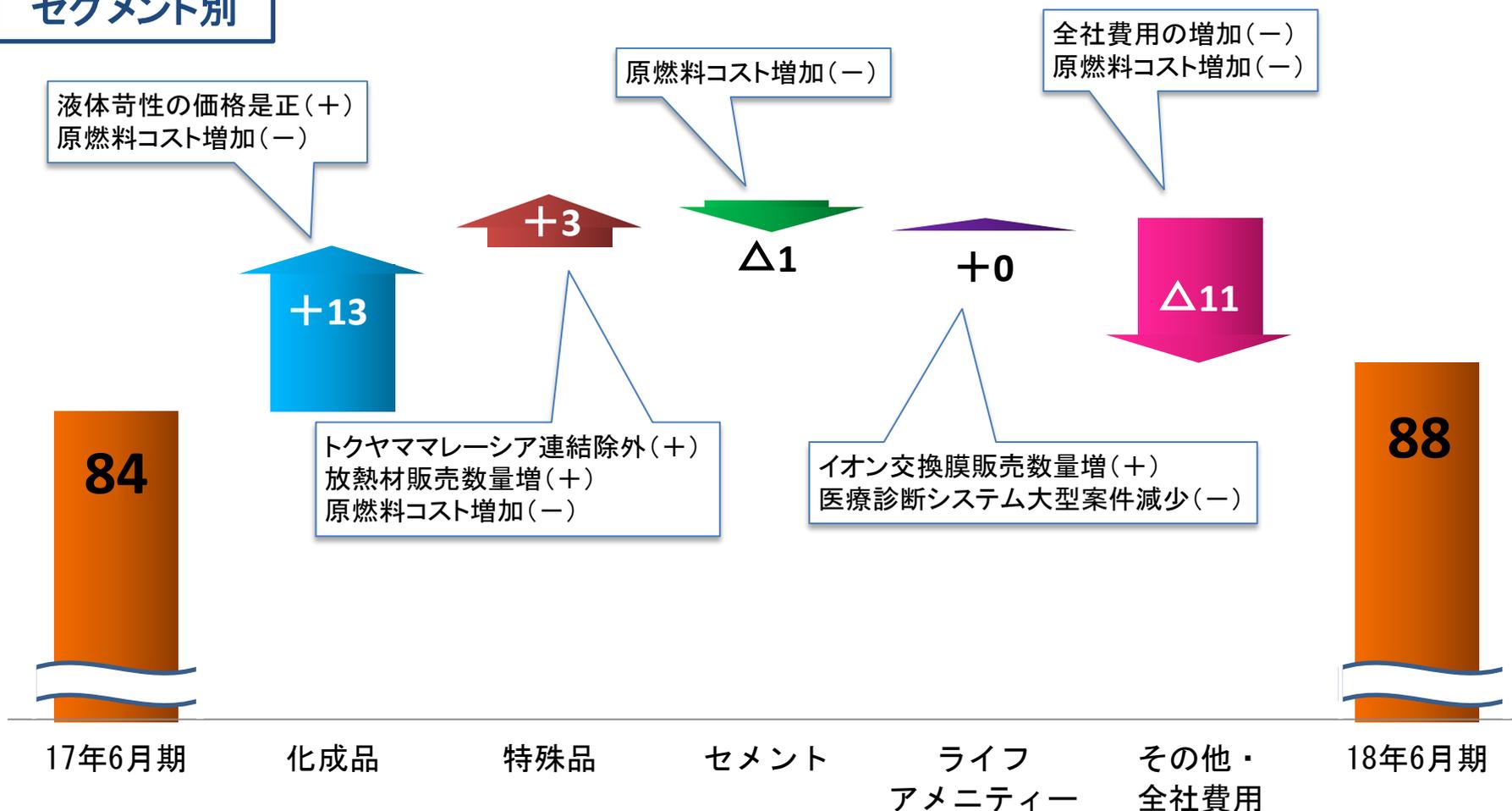
	2018年3月期 第1四半期		2019年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	227	35	251	48	+24	+11	+13	+37
特殊品	130	15	130	19	△0	△0	+3	+24
セメント	210	10	221	8	+11	+6	△1	△19
ライフアメニティー	118	7	123	8	+5	+5	+0	+7
その他	131	15	130	9	△1	△1	△5	△38
計	816	85	856	94	40	+5	+9	+11
セグメント間消去・ 全社費用	△92	△0	△98	△5	△6	-	△5	-
連結決算	724	84	758	88	+33	+5	+3	+5

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

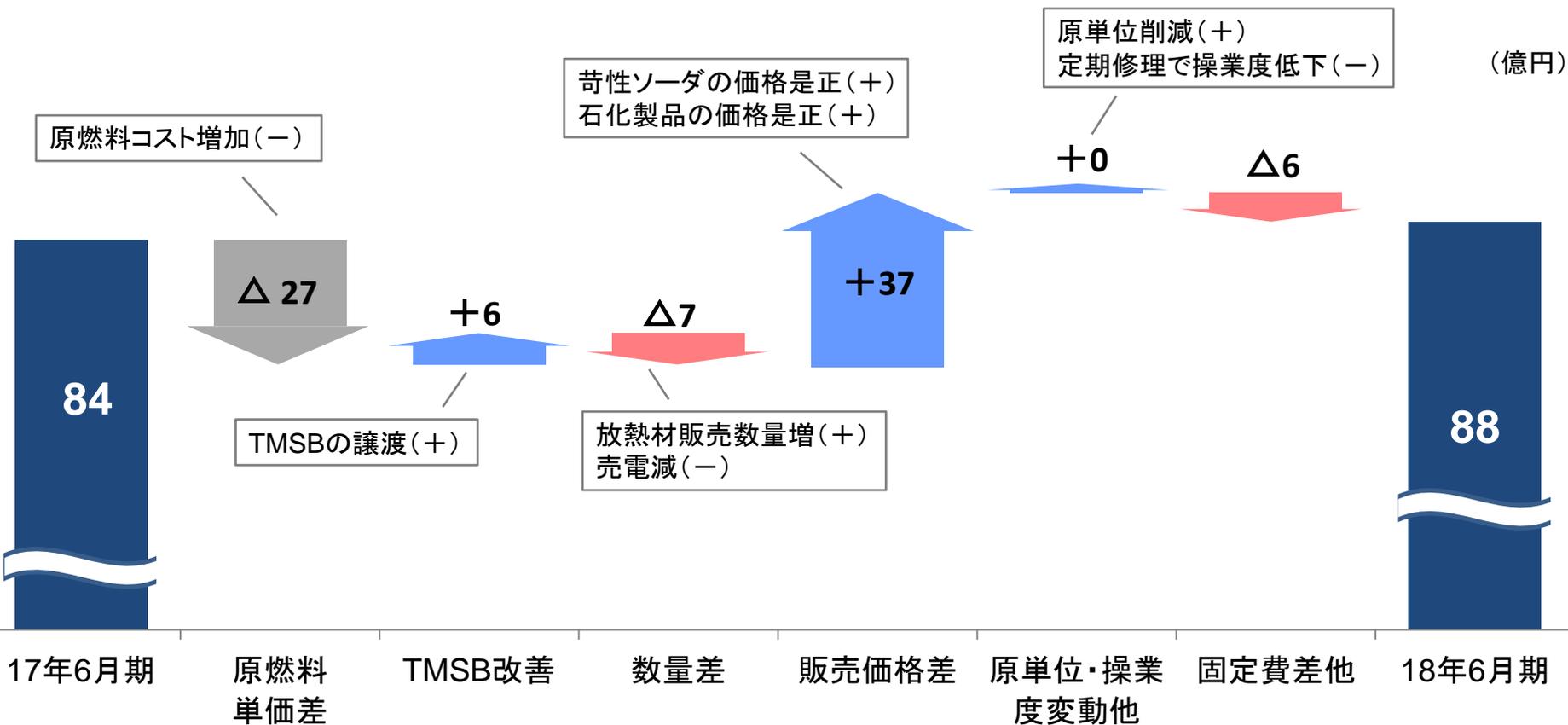
(前年同期比) (億円)

セグメント別



3. 営業利益増減分析

(前 年 同 期 比)



*TMSB: トクヤママレーシア

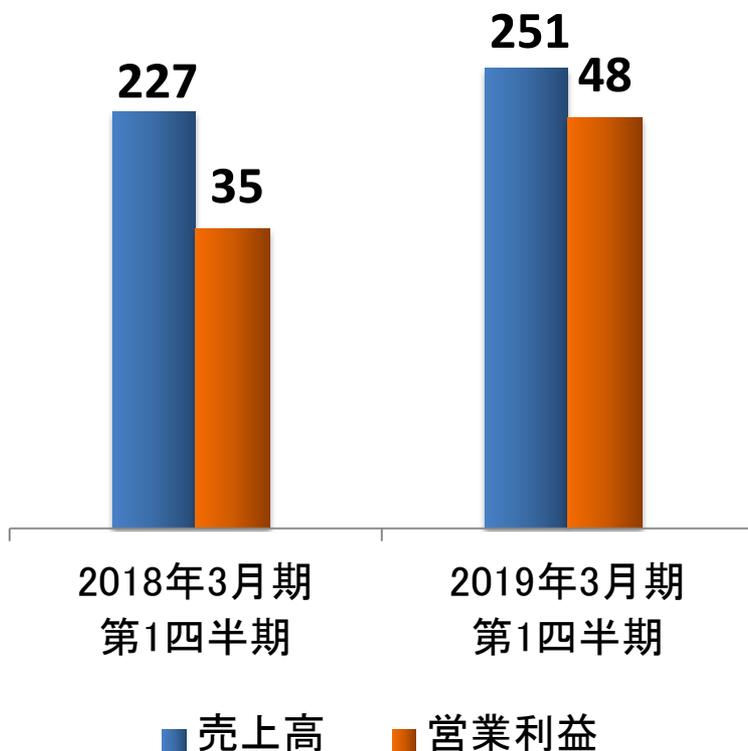
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

増収増益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・輸出を中心に販売数量が堅調に推移したことと、販売価格是正により増収

(塩ビモノマー)

- ・輸出数量が減少したものの、市況が上昇したことにより、売上高はほぼ前年同期並み

(塩ビ樹脂)

- ・堅調な国内需要に支えられ、販売数量が増加し増収

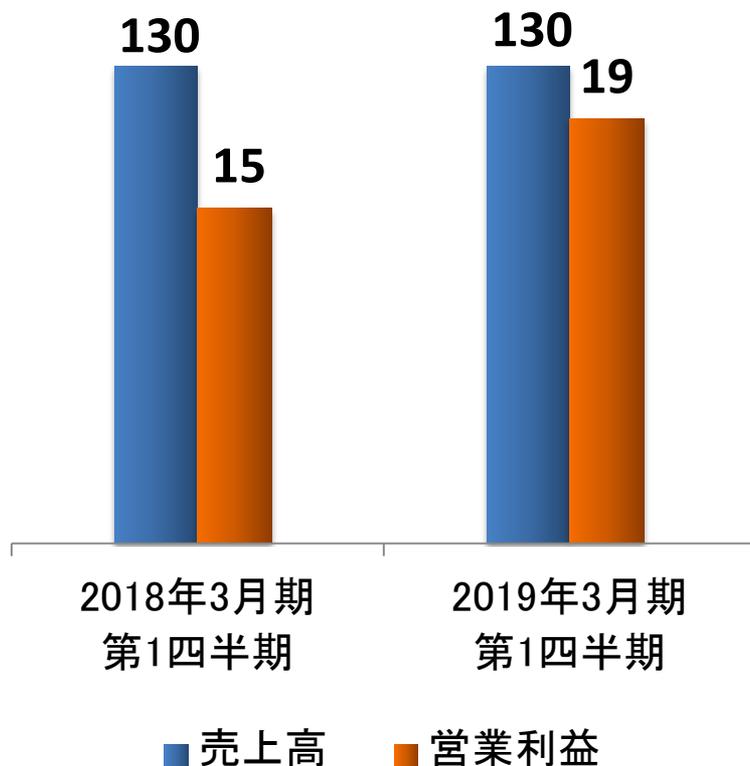
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

減収増益

定性情報

(億円)



(多結晶シリコン)

- ・半導体向けの販売数量は増加したものの、前年5月にTokuyama Malaysia Sdn. Bhd.を譲渡したことに伴う連結除外の影響により、減収

(乾式シリカ)

- ・CMP向けを中心として販売が堅調に推移し、増収

(電子工業用高純度薬品)

- ・半導体用途で販売が増加し、増収

(放熱材)

- ・半導体製造装置部材向けを中心に販売が増加し、増収

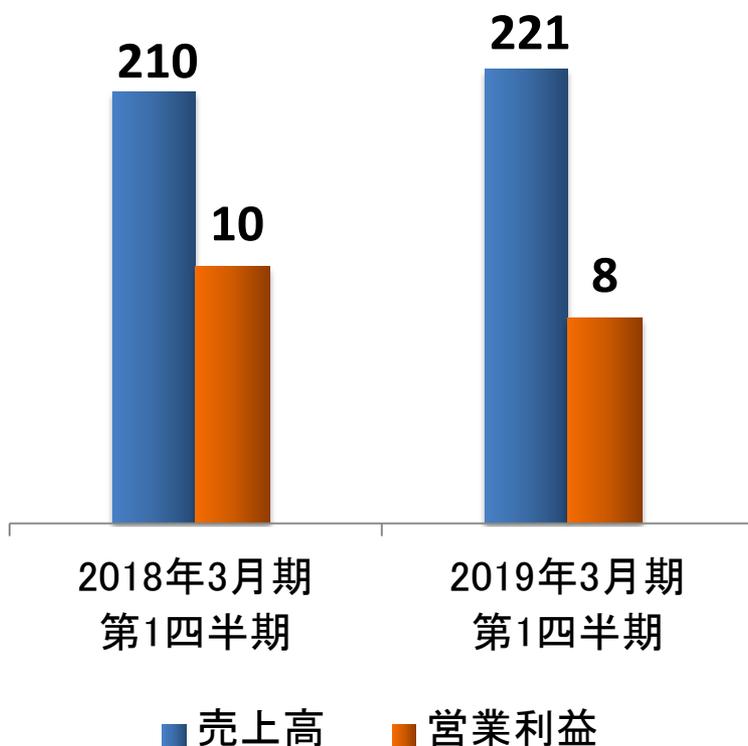
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

増収減益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・出荷は軟調であったものの、輸出価格が上昇したことにより、売上高はほぼ前年同期並み
- ・連結子会社は、セメント関連製品の出荷が堅調に推移し、増収
- ・石炭等の原料価格上昇による製造コスト増で減益

(資源リサイクル)

- ・廃棄物の受入数量は減少したものの、廃棄物処理単価が上昇した結果、売上高はほぼ前年同期並み

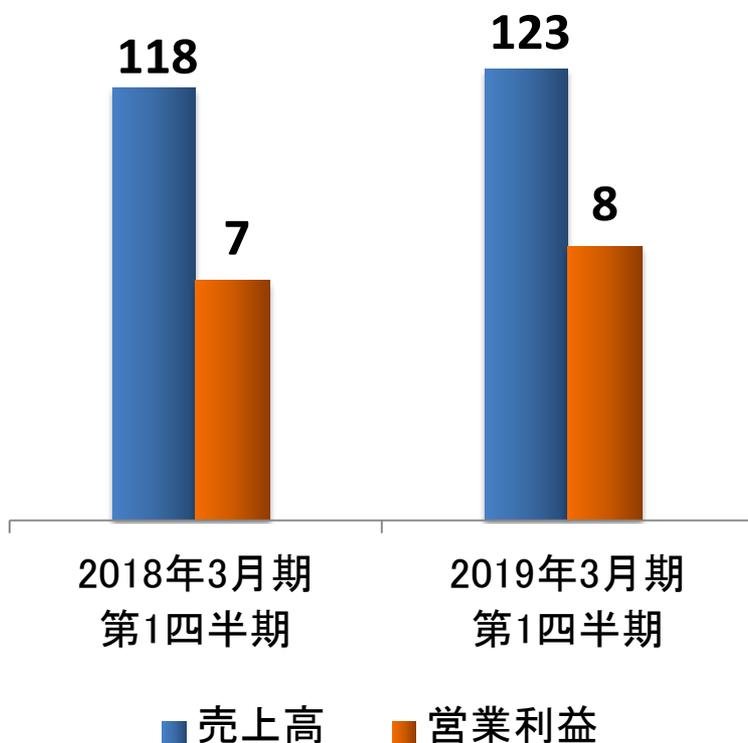
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

増収増益

定性情報

(億円)



(医薬品原薬・中間体)

・ジェネリック医薬品向けの需要が堅調に推移したことを受け、増収

(プラスチックレンズ関連材料)

・メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売が堅調に推移し、増収

(ポリオレフィンフィルム)

・コンビニエンスストア向け商品の包装材用途を中心に販売数量が堅調に推移し、増収

(イオン交換膜)

・出荷が堅調に推移し、増収

(医療診断システム)

・大型案件の減少により、減収

2 2019年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

(億円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,080	3,280	+199	+6	苛性ソーダ及び石化製品などの価格 是正と販売数量増加
営業利益	412	380	△32	△8	原燃料価格上昇による製造コスト増加
経常利益	361	340	△21	△6	営業利益の減少
親会社株主に 帰属する 当期純利益	196	270	+73	+37	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	259.81	388.15	-	-	-
為替(円/\$)	111	110	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	41,900	48,000	-	-	-

今後の事業環境については、為替、原燃料価格の変動など、不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移している。

そのため、2018年4月27日に公表した業績予想を据え置く。

2. セグメント別業績予想

(億円)

	2018年3月期実績		2019年3月期予想 (4/27公表)		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	935	161	1,020	180	+84	+9	+18	+11
特殊品	586	110	630	110	+43	+7	△0	△0
セメント	873	45	930	45	+56	+6	△0	△1
ライフアメニティー	515	37	560	30	+44	+9	△7	△20
その他	545	62	540	35	△5	△1	△27	△44
計	3,456	416	3,680	400	+223	+6	△16	△4
セグメント間 消去・全社費用	△376	△4	△400	△20	△23	-	△15	-
連結決算	3,080	412	3,280	380	+199	+6	△32	△8

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 生産能力増強
2. 成長事業の取り組み



1. 生産能力増強

フォトレジスト用現像液

TMAH(テトラメチルアンモニウムヒドロキシド)

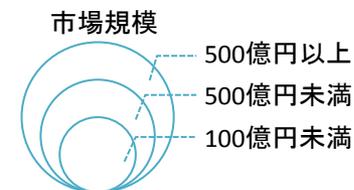
■生産能力:
50%アップ

■営業運転開始:
2020年4月予定



2. 成長事業の取り組み

ICT関連製品



	取り組み	シェア(イメージ)	市場規模
半導体向け多結晶シリコン	<ul style="list-style-type: none"> ■ フル生産維持 	<p>TOKUYAMA (世界シェア)</p>	
フォトレジスト用現像液 TMAH	<ul style="list-style-type: none"> ■ 能力増強決定 ■ フル生産維持 	<p>TOKUYAMA (アジアシェア) ※JV含む</p>	
洗浄用高純度IPA	<ul style="list-style-type: none"> ■ 台湾第2工場建設による供給体制の強化 ■ 工業用IPAとのバランス調整による販売数量増 	<p>TOKUYAMA (アジアシェア)</p>	
乾式シリカ	<ul style="list-style-type: none"> ■ CMP用途製品の販売数量増、価格是正 ■ 電子産業関連(トナー、液晶パネル部材など)のシリカ製品の拡充 	<p>TOKUYAMA (世界シェア)</p>	
放熱材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 製品ラインナップ拡充 	<p>TOKUYAMA (世界シェア)</p>	

Chemistry with a heart

TOKUYAMA



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2018年 3月期 第1四半期	2019年 3月期 第1四半期	増減	
			金額	%
売上高	724	758	+33	+5
売上原価	493	517	+24	+5
販管費	146	151	+5	+4
営業利益	84	88	+3	+5
営業外損益	△7	△2	+5	-
経常利益	77	86	+9	+12
特別損益	△82	△2	+80	-
税前三半期純利益	△5	84	+89	-
法人税等	41	15	△25	△61
非支配株主利益	34	1	△32	△95
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△81	66	+148	-

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

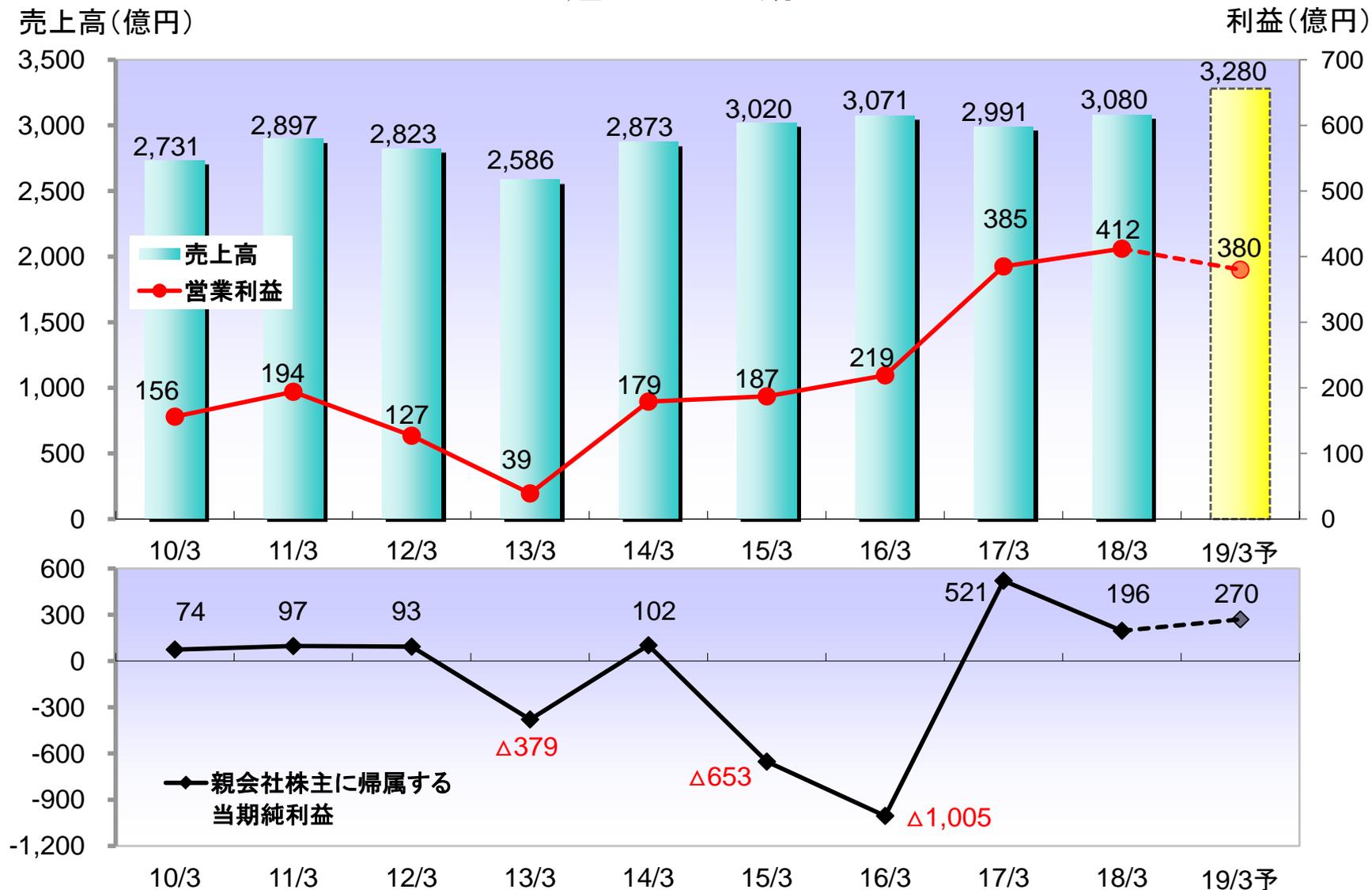
	2018年 3月末	2018年 6月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,619	3,580	△39	△1
流動資産	1,910	1,870	△40	△2
有形固定資産	1,102	1,107	+4	0
無形固定資産	27	24	△3	△13
投資その他の資産	579	578	△0	△0

	2018年 3月末	2018年 6月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,253	2,169	△84	△4
流動負債	930	872	△57	△6
固定負債	1,323	1,297	△26	△2
純資産合計	1,365	1,410	+44	+3

4 補足資料

2. 業績推移

通 期

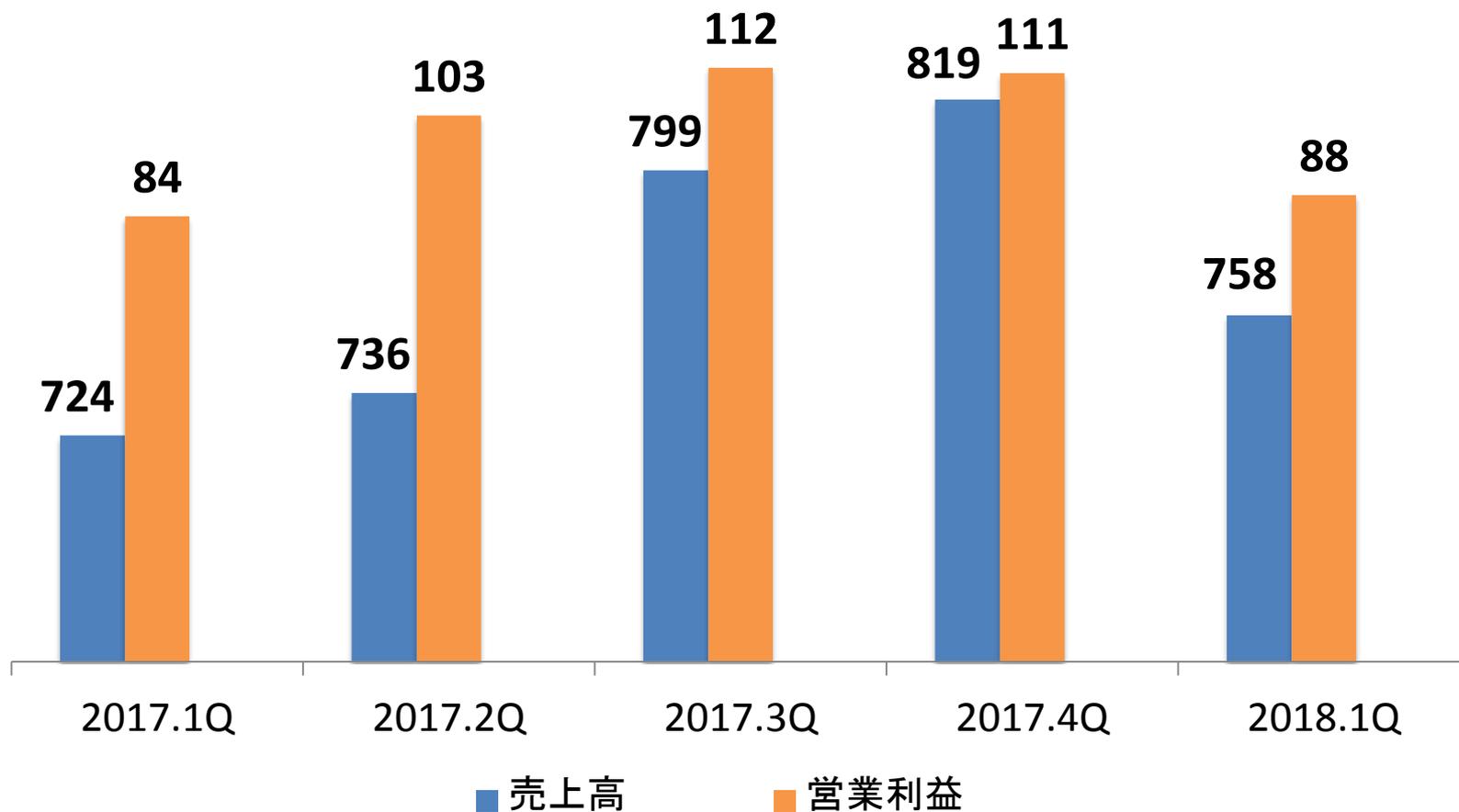


2. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)

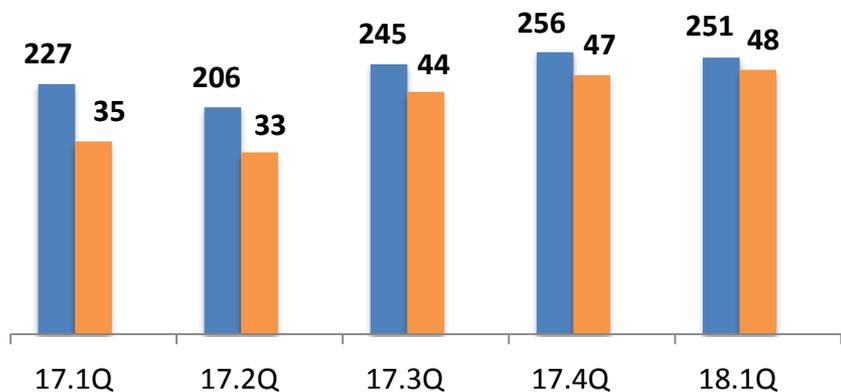


2. 業績推移

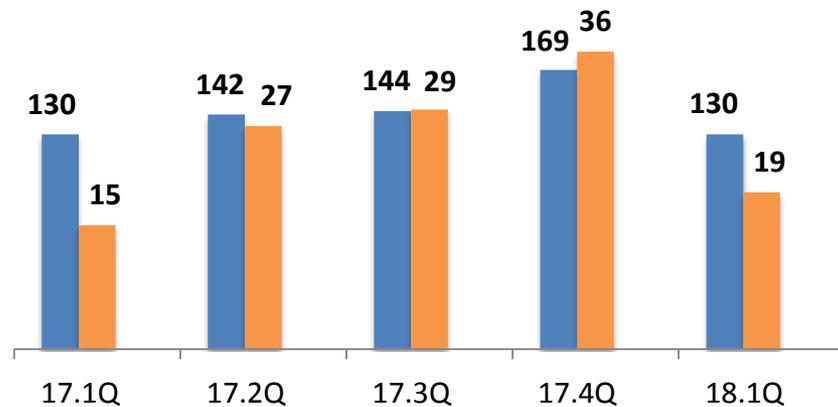
四 半 期

(億円)

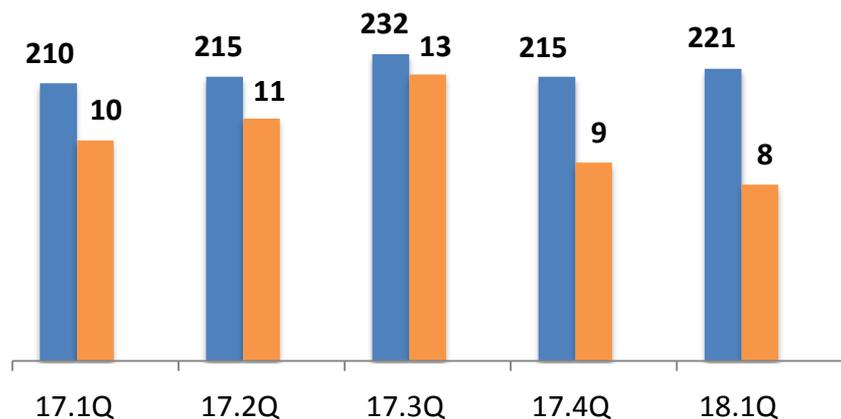
化粧品



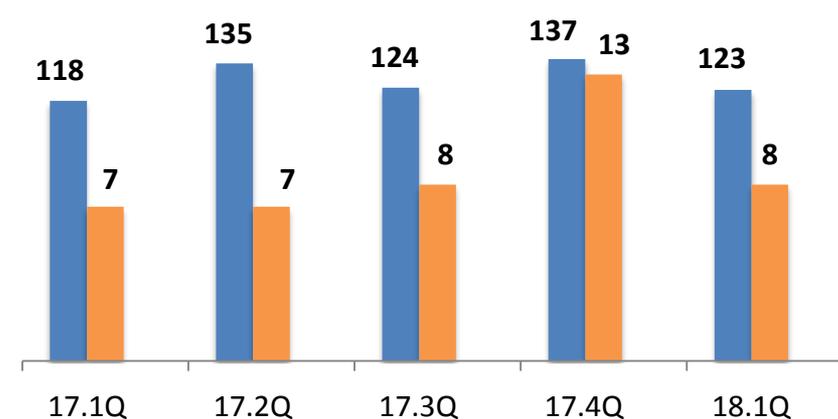
特殊品



セメント



ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

